



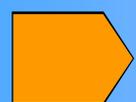
# 2020年3月期 第3四半期 決算補足資料

証券コード：6908

2020年2月4日

イリソ電子工業株式会社



-  I . 2020.3期 第3四半期連結決算概要
- II . 2020.3期 連結決算見通し
- III . トピックス

# 1. 2020年3月期第3四半期 業績のポイント



## 前期後半からの市況悪化が継続。売上・利益ともに前年同期比減少

- 売上：
  - ・第3四半期累計では、米中貿易摩擦の影響により中国市場での車載市場向けの減収、インダストリアル市場での投資抑制による減収。アメリカ市場ではカーAVN分野の販売減とGM社のストライキにより減収。加えて、為替による影響はユーロと元が円高に推移し△約7.5億円。EUでの売上は為替の影響がなければ増収。
  - ・四半期別では、前年同期比で車載市場では注力分野の安全系とパワートレイン系は増加しているものの、カーAVN分野の低迷で減収。コンシューマー市場はゲーム機向け等で減少したことで減収。一方、インダストリアル市場はやや回復。
  - 地域別にみると、日本とEUが安全系とパワートレイン系が牽引して増加。
  - ・ADASの進展により安全系(カメラ・レーダー)向けが約10%増加、三次元可動BtoBコネクタ“Z-Move<sup>®</sup>”を含む電動車のパワートレイン系向けが約40%増加。この2領域で全売上の22.4%の規模へ成長。
- 利益：通常の前価低減に加えてコンティンジェンシープランにより追加のコスト削減を行ったものの、売上減少と上期に今後の販売見通しを考慮した生産調整を行ったことの影響や金価格の高騰により減益。四半期別では、前価低減とコンティンジェンシープラン効果により2Q比増益。
- トピックス
  - ・2019年12月に「2019国際ロボット展」に出展し、イリソのロボット組立対応技術を広くアピール
  - ・「ISO45001」を取得

## 2. 2020年3月期第3四半期連結業績(前年同期比)



単位：百万円

	19.3期 第3四半期 累計	20.3期 第3四半期 累計	前年同期比
売上高	32,440	30,002	△2,438 92.5%
営業利益	5,012 (15.5%)	3,630 (12.1%)	△1,382 72.4%
経常利益	5,289 (16.3%)	3,690 (12.3%)	△1,599 69.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,869 (11.9%)	2,750 (9.2%)	△1,119 71.1%
E P S	163.86円	116.72円	
為替レート 期中平均	ドル 110.82円 ユーロ 129.38円	109.09円 121.45円	△1.73円 △7.93円

## 3. 車載市場の区分変更について①（再掲）



### ■変更の背景

自動車はCASE(Connected：コネクティッド化、Autonomous：自動運転化、Shared：カーシェア、Electric：電動化)に代表される100年に1度の大きな変革が起きており、自動車内の機器や使われ方に変化が起きています。この変化に合わせて区分変更を致します。

#### →①インフォテインメント（「Information+Entertainment」の合成語）

従来のカーナビゲーションやメーター計器類などが、車体、速度、車内外の状況などの様々な情報の表示と外部との通信のために統合されていくことを想定し、カーナビゲーションなどの部分とダッシュボードの計器類を「インフォテインメント分野」としてまとめる

#### ②セーフティ

カメラなど、車の安全を確保するセンサー関連を「セーフティ分野」として独立させ、自動運転に向けた需要の変化を捉える

#### ③パワートレイン

電気自動車などの駆動用モーターに電気を供給する部分を「パワートレイン分野」として独立させ、電動化によるパワートレインの需要の変化を捉える

### ■車載市場の区分変更

車載市場をAVN、カーエレクトロニクスの2区分から

- ・インフォテインメント
- ・セーフティ
- ・パワートレイン
- ・その他

の4区分へ変更します。



## 4. 車載市場の区分変更について②（再掲）



### ■各区分内の主な当社コネクタ搭載アプリケーション

新区分	主なアプリケーション	※現区分
エン터테인먼트	・カーナビゲーション、 カーオーディオなど	AVN
	・メーター計器類など	カーエレクトロニクス
セーフティ	・カメラなど	
パワートレイン	・モーター駆動回路など	
その他	—	

## 5. 売上高詳細(市場別) ※現区分市場別

単位：百万円

		20.3期 第3四半期累計	前年同期比	構成	増減要因
オートモーティブ(車載)		25,557	92.5%	85.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要地域で自動車販売が不振</li> </ul>
区分	AVN (カーAV、ナビゲーションシステム等)	10,285	83.3%	34.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カーエレクトロニクス分野は安全系向けが前年同期比約10%、パワートレイン系向けが前年同期比約40%増加し、前年同期比ほぼ横ばい</li> </ul>
	エレクトロニクス (安全系、電装関連、駆動系等)	15,272	99.9%	50.9%	
コンシューマー (OA、ゲーム機、デジカメ、携帯電話、TV等)		2,868	91.4%	9.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OA機器、ゲーム機、デジカメ向けを中心に減少</li> <li>・ 新規テレビ向けの出荷開始</li> </ul>
インダストリアル (産業機器等)		1,577	94.5%	5.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米中貿易摩擦の影響で中国での設備投資が抑制されており減少</li> </ul>
合計		30,002	92.5%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外比率79.1%</li> </ul>

注：AVNは、オーディオビジュアルナビゲーションの略で、カーオーディオ全般、ナビゲーションシステム等のこと



## 6. 売上高詳細(市場別) ※新区分市場別



単位：百万円

		20.3期 第3四半期累計	前年同期比	構成	増減要因
オートモーティブ(車載)		25,557	92.5%	85.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国を中心に主要地域で自動車販売が不振</li> <li>・セーフティ分野、パワートレイン分野は計画よりやや弱い、伸びは継続</li> <li>・セーフティ分野、パワートレイン分野以外は販売台数減少の影響を受けた</li> </ul>
区分	インフォテインメント	14,485	85.1%	48.3%	
	セーフティ	5,500	108.1%	18.3%	
	パワートレイン	1,227	140.4%	4.1%	
	その他	4,343	93.4%	14.5%	
コンシューマー (OA、ゲーム機、デジカメ、携帯電話、TVなど)		2,868	91.4%	9.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OA機器、ゲーム機、デジカメ向けを中心に減少</li> <li>・新規テレビ向けの出荷開始</li> </ul>
インダストリアル (産業機器など)		1,577	94.5%	5.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米中貿易摩擦の影響で中国での設備投資が抑制されており減少</li> </ul>
合計		30,002	92.5%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外比率79.1%</li> </ul>



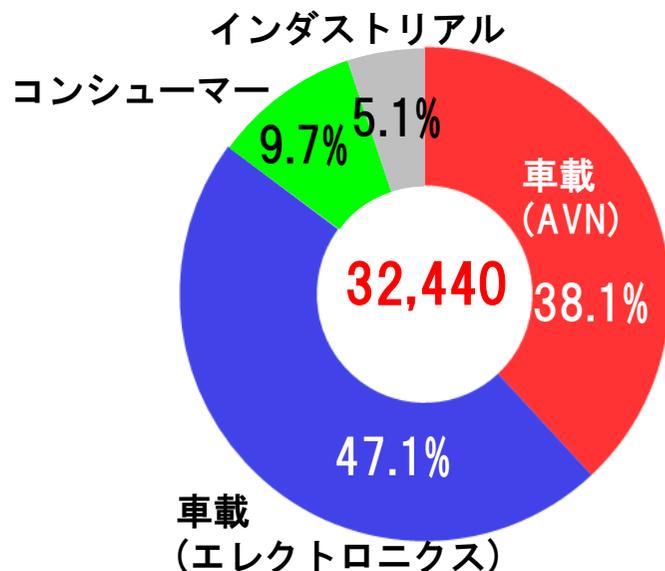
# 7. 市場別売上高構成比推移(前年同期比)



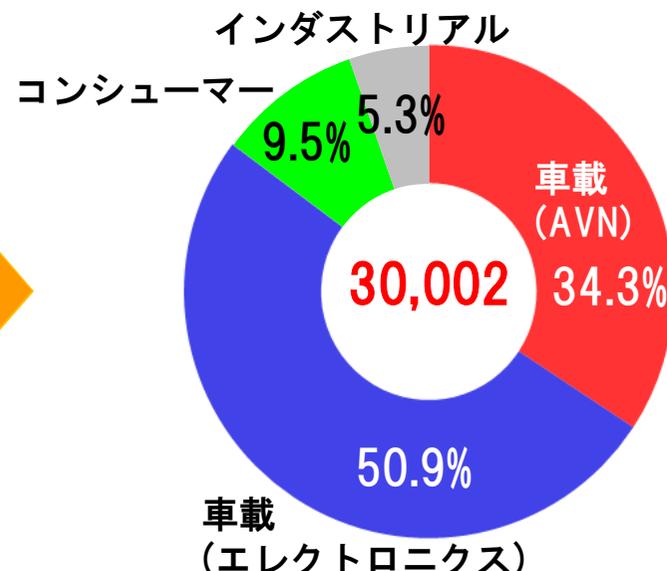
単位：百万円

現区分

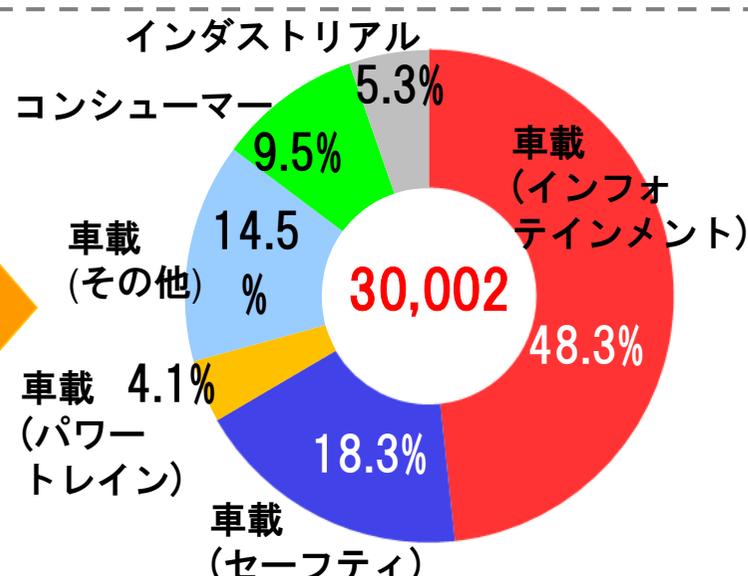
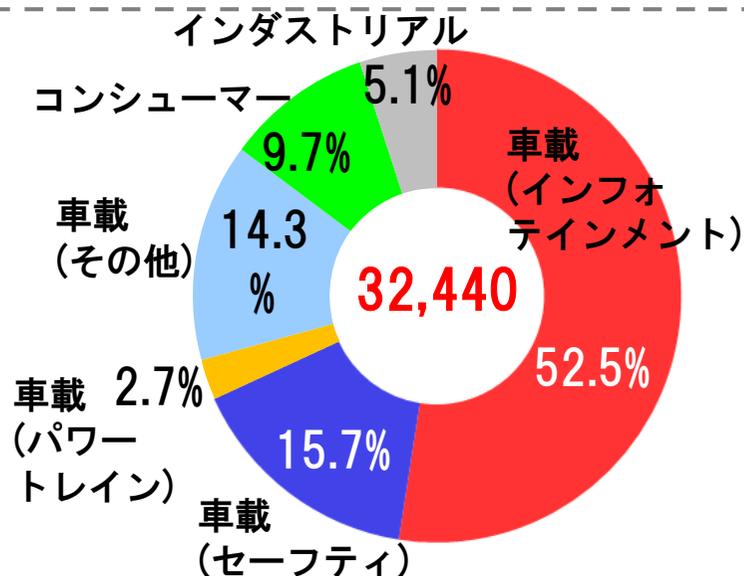
19.3期第3四半期

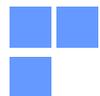


20.3期第3四半期



新区分



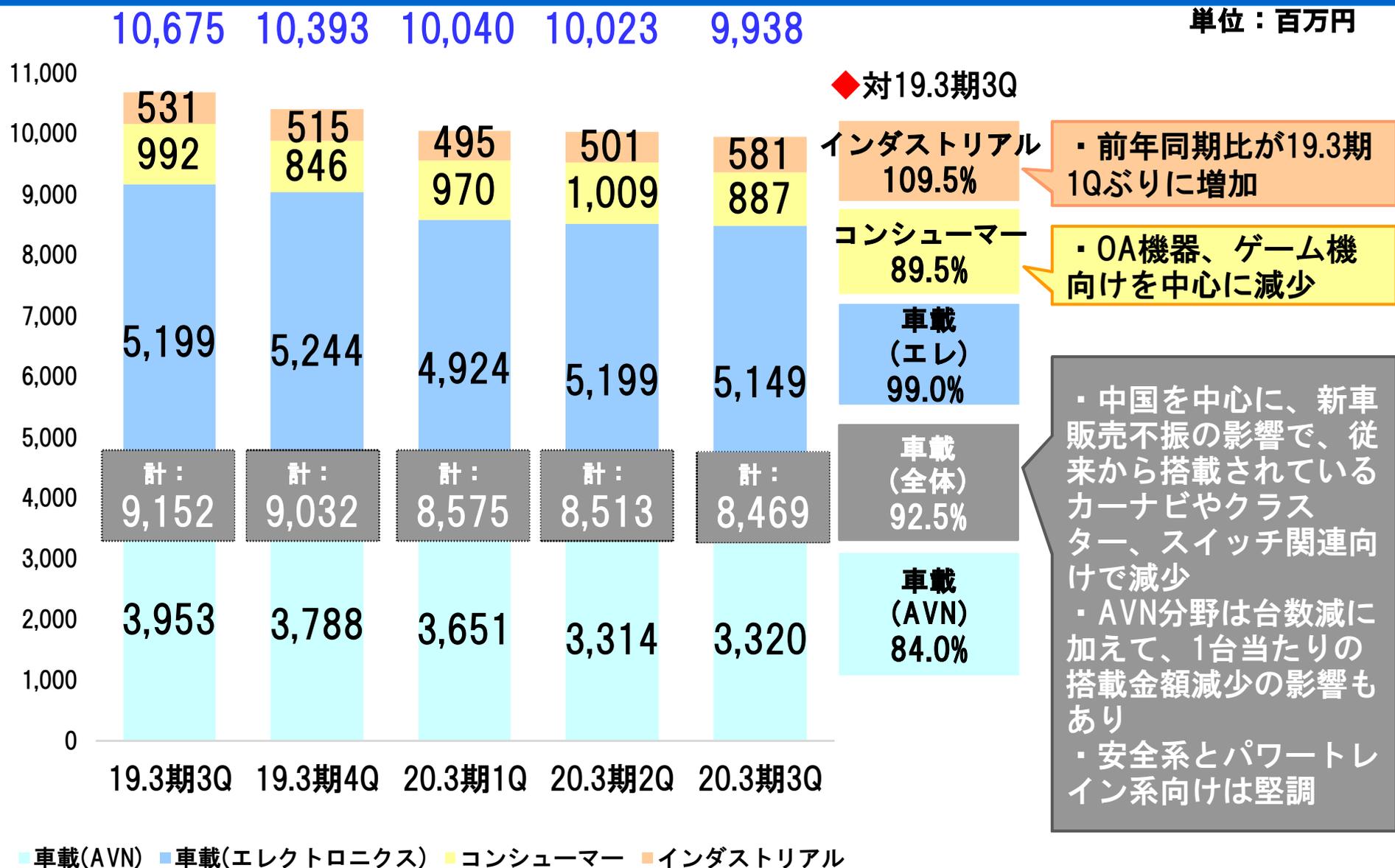


# 8. 市場別売上高(四半期推移)

## ※現区分市場別



単位：百万円



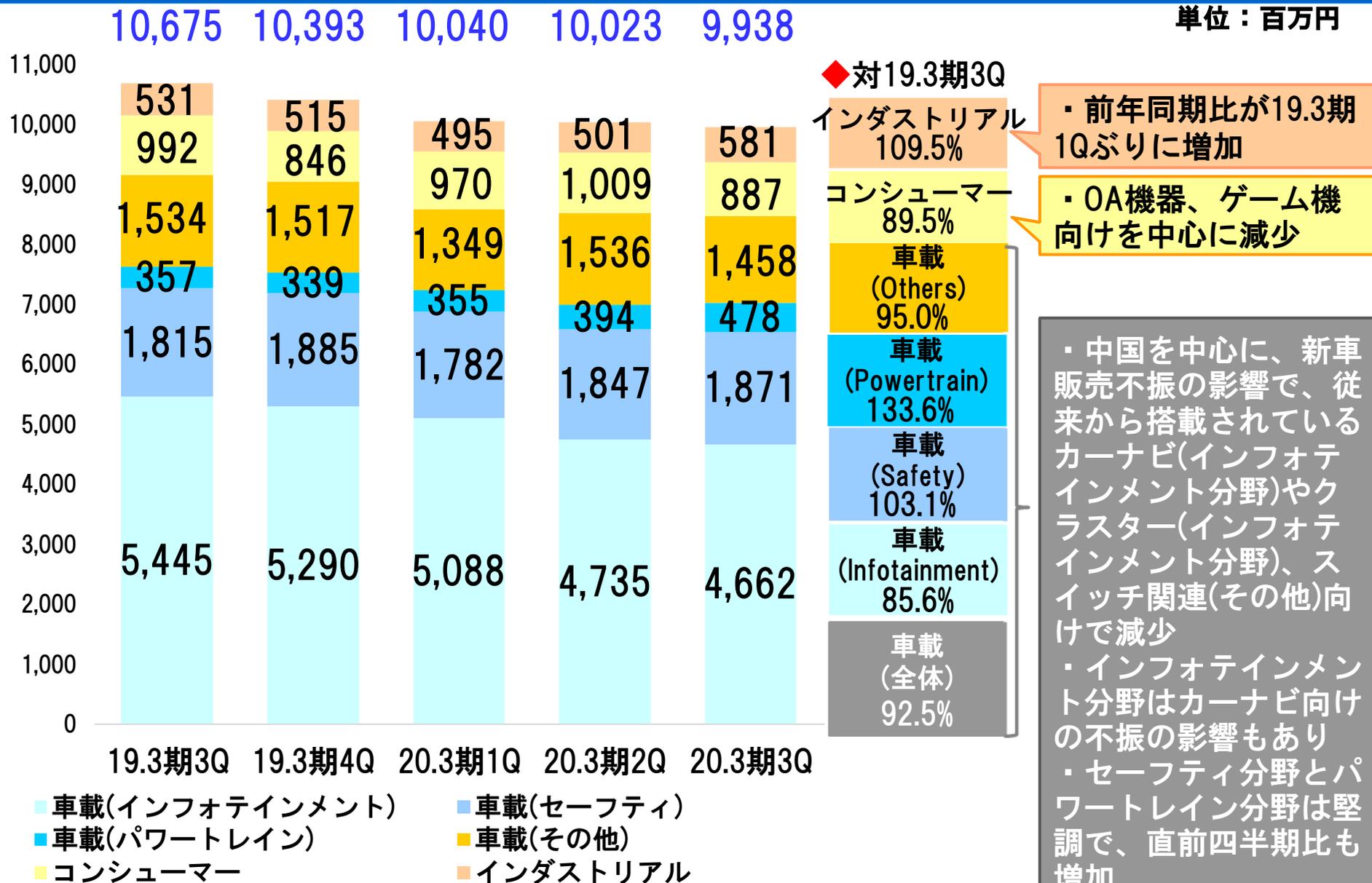


# 9. 市場別売上高(四半期推移)

## ※新区分市場別



単位：百万円

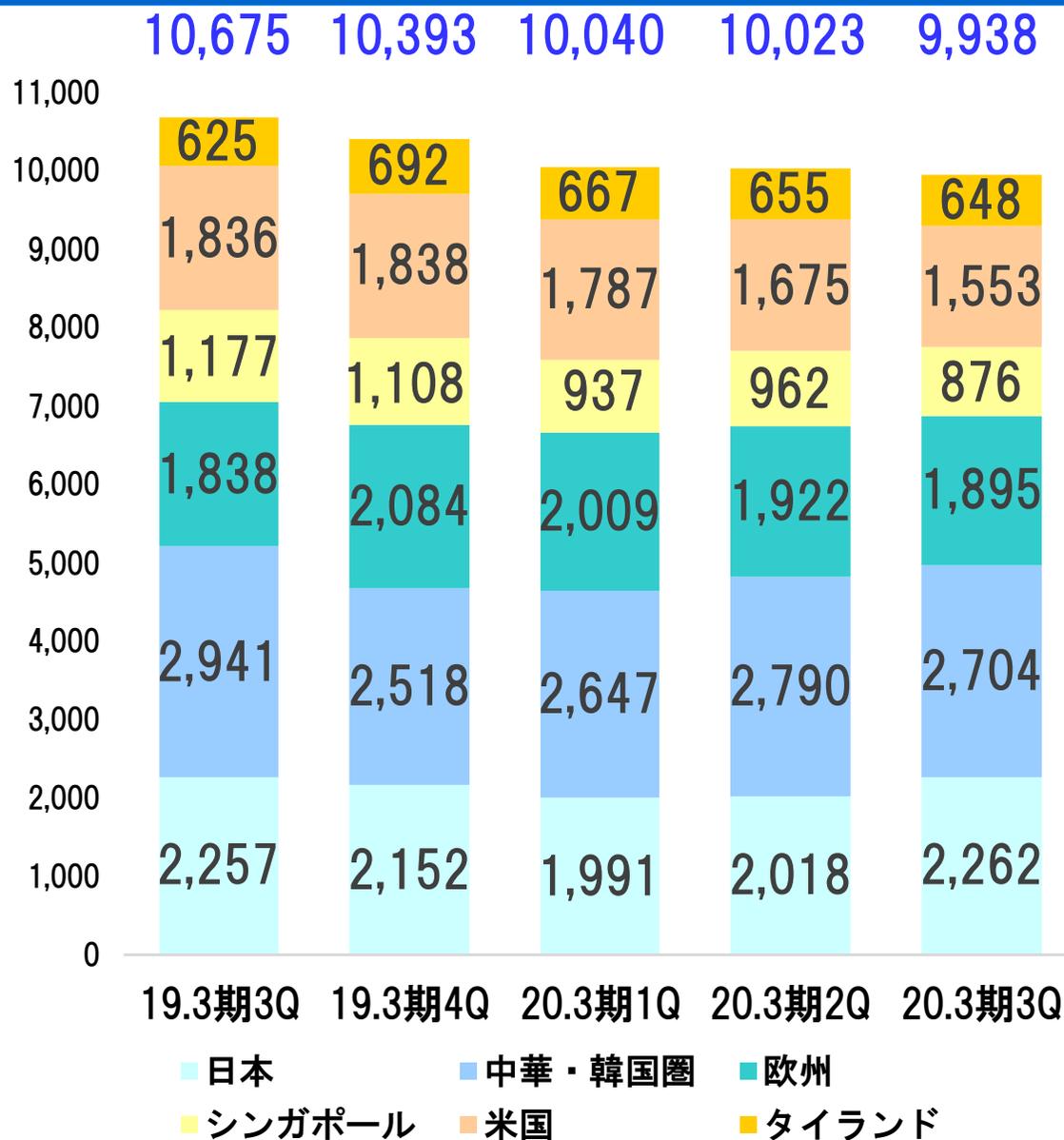




# 10. 地域別売上高(四半期推移)



単位：百万円



◆対19.3期3Q

タイランド  
103.7%

米国  
84.6%

シンガポール  
74.5%

欧州  
103.1%

中華・韓国圏  
91.9%

日本  
100.2%

・カーエレクトロニクス分野が好調

・車載市場でAVN分野、カーエレクトロニクス分野ともに減少。GM社のストライキの影響もあり

・カーAVN分野を中心に車載市場とコンシューマー市場が減少

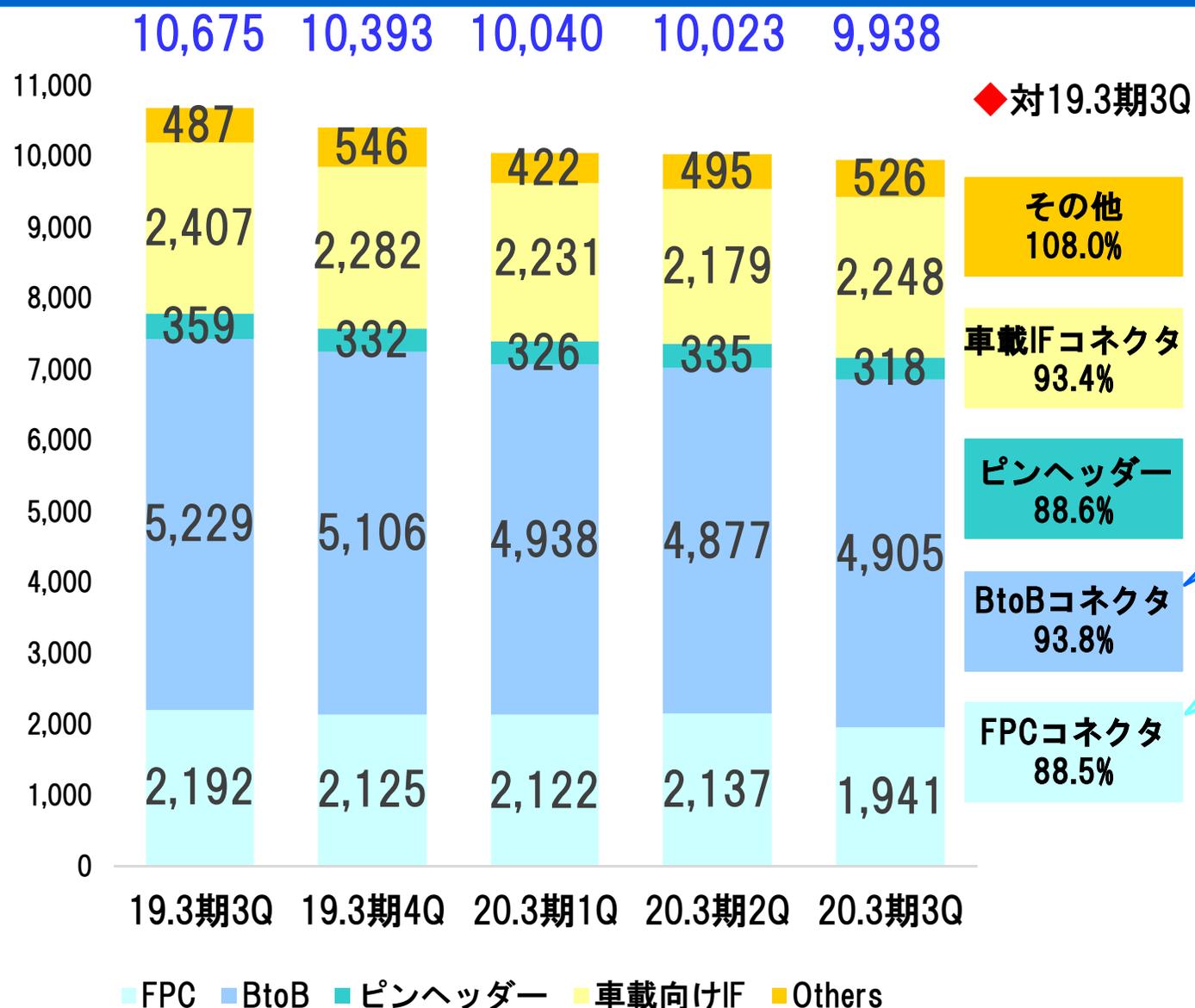
・安全系が牽引し、カーエレクトロニクス分野が増加

・パワートレイン系向けは好調だが販売台数低迷により車載市場が減少。コンシューマー市場もゲーム機向けで減少

カーAVN分野で減少したが、カーエレクトロニクス分野とインダストリアル市場が増加し、カバー

# 11. 製品別売上高(四半期推移)

単位：百万円



・ 車載市場の減少  
 ・ カーAVN分野、  
 コンシューマー市場での減少



## 12. 損益計算書(連結)(前年同期比)



単位：百万円

	19.3期 第3四半期累計		20.3期 第3四半期累計		前年同期比	
売上高	32,440	100.0%	30,002	100.0%	△2,438	92.5%
売上原価	20,816	64.2%	20,023	66.7%	△792	96.2%
売上総利益	11,624	35.8%	9,978	33.3%	△1,645	85.8%
販売管理費	6,611	20.4%	6,348	21.2%	△263	96.0%
営業利益	5,012	15.5%	3,630	12.1%	△1,382	72.4%
営業外収益	300	0.9%	109	0.4%	△191	36.3%
営業外費用	24	0.1%	49	0.2%	25	207.0%
経常利益	5,289	16.3%	3,690	12.3%	△1,599	69.8%
特別損益	△139	△0.4%	△94	△0.3%	45	- %
税前利益	5,149	15.9%	3,595	12.0%	△1,554	69.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,869	11.9%	2,750	9.2%	△1,119	71.1%
E P S	163.86円		116.72円		-	
為替レート (ドル/ユーロ)	110.82円/ 129.38円		109.09円/ 121.45円		△1.73円/ △7.93円	

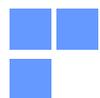


# 13. 貸借対照表(連結)(前期末比)



単位：百万円

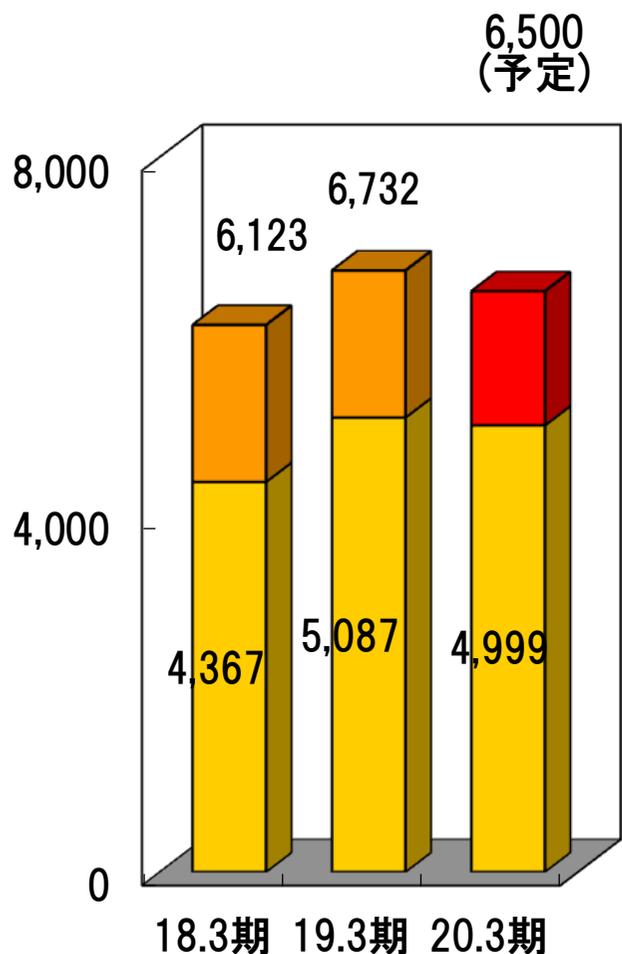
	19.3期		20.3期 第3四半期		前期末比	要因
流動資産	35,103	57.1%	31,996	53.1%	△3,106	現金及び預金△2,686 商品及び製品△242
固定資産	26,368	42.9%	28,311	46.9%	1,943	有形固定資産2,218 無形固定資産△293
資産合計	61,471	100.0%	60,308	100.0%	△1,163	
流動負債	9,442	15.4%	7,480	12.4%	△1,961	未払法人税等△1,598 支払手形及び買掛金△567
固定負債	699	1.1%	1,116	1.9%	416	長期未払金△419
負債合計	10,141	16.5%	8,597	14.3%	△1,544	
株主資本	49,351	80.3%	50,681	84.0%	1,330	利益剰余金1,330
その他の 包括利益累計額	1,663	2.7%	695	1.2%	△967	為替換算調整勘定△963
非支配株主持分	315	0.5%	333	0.6%	18	
純資産合計	51,329	83.5%	51,710	85.7%	380	1株純資産 2,180.07円 (前期末 2,164.68円)
負債・純資産 合計	61,471	100.0%	60,308	100.0%	△1,163	



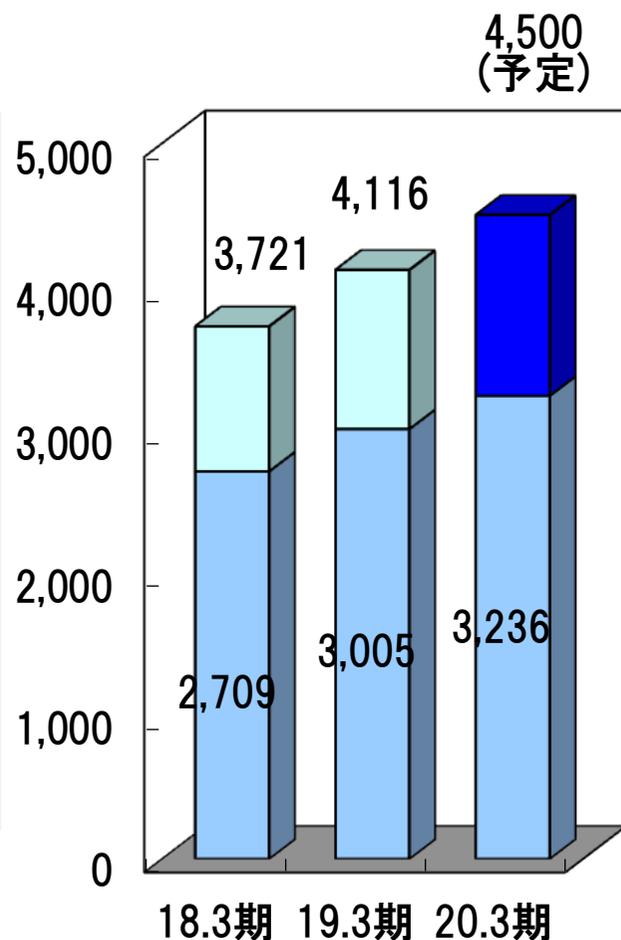
# 14. 設備投資・減価償却・研究開発



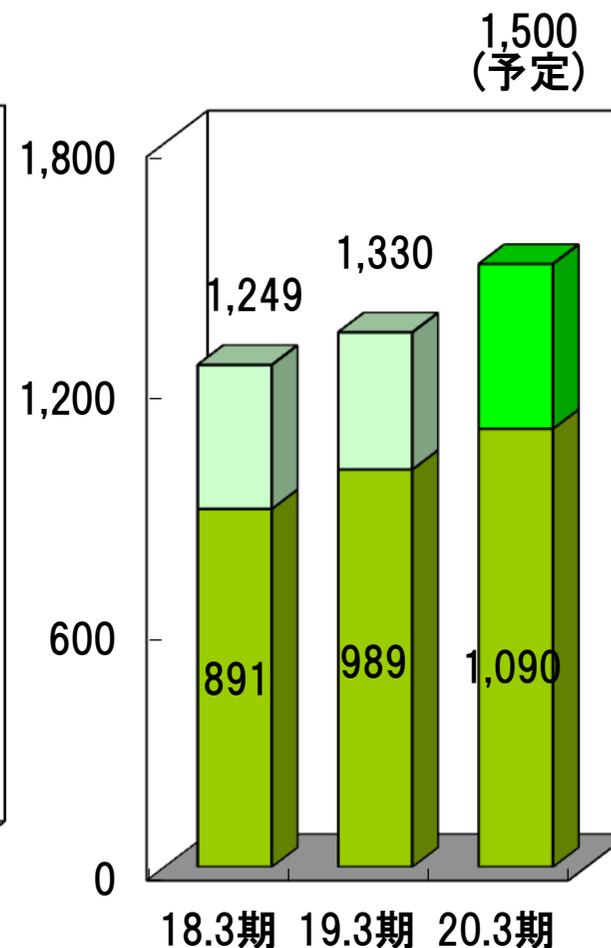
単位：百万円



### 設備投資



### 減価償却



### 研究開発

注：各グラフの数値は、下段に第3四半期累計の実績、上位に通期での実績(20.3期は予定)を記載

**設備投資はコンティンジェンシープランで期初計画7,500万円から6,500百万円へ削減予定**



I . 2020.3期 第3四半期連結決算概要

 II . 2020.3期 連結決算見通し

III . トピックス

# 1. 2020年3月期 修正計画



単位：百万円

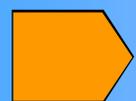
- ・ 11月公表値を売上、利益ともに下方修正致します。
- ・ 売上：新型コロナウイルス拡散による中国での経済活動の停滞に伴い、グローバルでのサプライチェーンへの影響から当社顧客での生産調整が予想されることから対前回公表値比△10億円
- ・ 営業利益：新型コロナウイルスの影響による売上高と生産の減少に加えて、金価格の高騰、大型台風到来に伴う復旧及び支援等の一時的な費用、将来の成長戦略上の費用増加、並びに物量の低下により原価低減効果が減少する見込みであることにより対前回公表値△16億円

	19.3期 実績	20.3期 11月時点 計画	20.3期 今回 修正計画
売上高	42,834	40,500	39,500
営業利益	6,084 (14.2%)	6,100 (15.1%)	4,500 (11.4%)
経常利益	6,325 (14.8%)	6,000 (14.8%)	4,560 (11.5%)
親会社株主に帰 属する 当期純利益	3,722 (8.7%)	4,400 (10.8%)	3,300 (8.4%)
EPS	157.70円	186.70円	140.43円
為替	ドル 110.69円 ユーロ 128.43円 元 16.53円	ドル 108.53円 ユーロ 120.77円 元 15.54円	ドル 108.84円 ユーロ 121.12円 元 15.61円



I . 2020.3期 第3四半期連結決算概要

II . 2020.3期 連結決算見通し

 III . トピックス

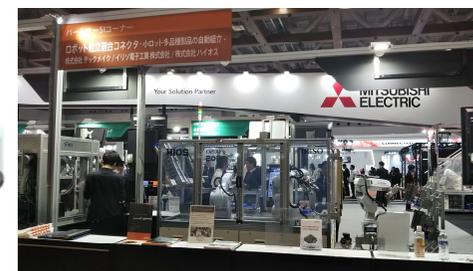
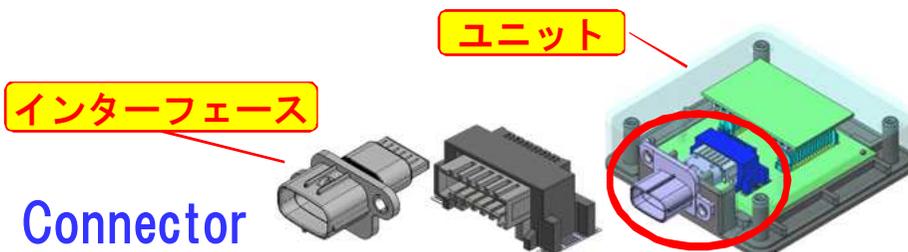
## 「2019国際ロボット展」に出展しました

- ・開催期間：2019年12月18日～12月21日
  - ・来場者数：14万人
- 「イリソのコネクタを使用すれば、生産現場でロボットが使用できる」をテーマに、三菱電機株式会社様のご協力のもとロボット組立のデモンストレーションを実施しました。

### 出展製品

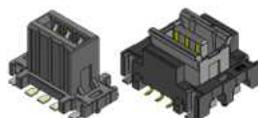
#### ・ Unit-able™ Socket Connector

ユニットブルコネクタは、インターフェースのカスタマイズで、ユニットの共通化ができ、様々なお客様の要求にお応えできるコンセプトの製品で、Z-Move®機能を有しているため、ロボットによる自動組立が可能です。



#### ・ Floating BtoB® Connector

フローティングコネクタは、基板の位置ズレを吸収し半田付部のストレスを軽減。半田クラックを防ぎます。またコネクタを複数個同一基板上に搭載し嵌合することが可能です。イリソは豊富なバリエーションでお客様のニーズに対応いたします。



実際のデモンストレーション動画はこちらからご覧になれます。

→ [【IRISO 2019国際ロボット展】 \(https://www.youtube.com/watch?v=vFM5laxPZnM\)](https://www.youtube.com/watch?v=vFM5laxPZnM)





## 2.トピックス②：「ISO45001」取得



### 「ISO45001」を取得しました

本社と茨城工場で労働安全衛生マネジメントシステムに対する国際規格である「ISO45001」を取得しました。

これまでも品質(ISO9001、IATF16949)、環境(ISO14001)に関する規格を取得し、お客様に満足して頂く品質づくりと事業活動のすべてにおいて環境配慮の視点に立った活動を行ってきました。

加えて労働安全衛生に関する規格を取得し、「安全はすべてに優先する」をモットーに、イリソで働くすべての関係者へ安全で健康的な職場の提供と、負傷及び疾病を防止し、生き生きと働ける明るい快適な職場環境づくりを行って参ります。

#### ■イリソ取得済規格

規格	種類	取得拠点
ISO9001	品質マネジメントシステム	本社、全工場
IATF16949	自動車産業向け品質マネジメントシステム	本社、全工場
ISO14001	環境マネジメントシステム	本社、全工場
OHSAS18001	労働安全衛生マネジメントシステム	ベトナム工場
ISO45001 <span style="background-color: yellow; border: 1px solid red; padding: 2px;">New</span>	労働安全衛生マネジメントシステム	本社、茨城工場

### 3.トピックス③：新型コロナウイルスによる影響

中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大に伴う影響

#### ■中国における、当局の発表内容

公示者	公示日	内容
中国国務院	1月27日	本年の春節休暇期間を2月2日(日)まで延期
上海市	1月27日	上海市内の企業を対象に、2月9日(日)まで休業させる措置を発表
南通市	1月28日	南通市内の企業を対象に、2月9日(日)まで休業させる措置を発表

#### ■当局発表を受けての当社中国拠点への操業再開予定日(2月4日時点)

種別	所在地	名称	操業再開予定日
生産工場	上海市	上海意力速電子工業有限公司	2月10日
生産工場	南通市	南通意力速電子工業有限公司	2月10日
R&Dセンター	上海市	意力速(上海)電子技術研発有限公司	2月10日
販売拠点	上海市	意力速(上海)貿易有限公司	2月10日

→上記スケジュールにおいては、納期遅延等、顧客への影響は回避できる見込みです。

#### ■当社現地法人の対応(2月4日時点)

当社全社員において、感染が無い事を確認できております。併せて、中国現地法人において、従業員出勤時の体温測定と体調確認、マスク着用を徹底することに加え、本社内に対策チームを発足し、全面的な予防措置の向上に最大限注力して参ります。

#### ■業績等への影響

修正計画に織り込み済みですが、さらに影響がある場合には開示して参ります。

会 社 名	:	イリソ電子工業株式会社
事 業 内 容	:	各種コネクタの製造・販売
設 立 年 月	:	1966年12月
社 員 数	:	3,645名(2019年3月31日現在)
資 本 金	:	5,640百万円(2019年3月31日現在)
本 社	:	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営 業 拠 点	:	
国内		本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府
海外		シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国（上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶）、マレーシア、台湾、インド
研 究 開 発	:	本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、上海R&Dセンター
工 場	:	茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

## コネクタの種類

### 基板対基板コネクタ（BtoBコネクタ）

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ（ボードtoボードコネクタ）とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B（ビー・ツー・ビー）は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

### FPC/FFCコネクタ

FPC基板（Flexible printed circuits）やFFCケーブル（Flexible flat cable）の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF（Zero insertion Force）タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

### I/Fコネクタ

I/Fとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O（インプット／アウトプット）コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面（裏・表面）に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

### ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン（電導体）”をハウジング（樹脂材でできた絶縁体）で支えたプラグ（オス側）コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続（基板間接続）に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。